

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域の持続可能性に貢献する農業  
 安心安全な地産地消を目指すために

日時	内容	場所	参加費
第1回 7/23(土) 13:30~ 15:30	テーマ 「農業の現状と課題・消費者に求めること」 講師…中野 貴広氏 下関市農林水産振興部 理事	下関市 社会福祉センター	500円
第2回 9/24(土) 13:30~ 15:30	テーマ 「農業協同組合の現状と課題・消費者に求めること」 講師…藤永 清一氏 山口県農業協同組合 下関統括本部営農経済部 部長	下関市 社会福祉センター	500円
第3回 10/29(土) 13:30~ 15:30	テーマ 「小売業など流通業の現状と課題・消費者に求めること」 講師…太田 高志氏 コープやまぐち 常任理事 福浪 美紀氏 コープやまぐち 常任理事	下関市 社会福祉センター	500円
第4回 11/26(土) 13:30~ 15:30	テーマ 「循環型・秋川牧園の取り組み」 講師…秋川 正氏 秋川牧園 代表取締役社長	下関市 社会福祉センター	500円

コロナによるパンデミック、ロシア・ウクライナの紛争など考えられなかった事態が起きています。それらから色々なことが見えてきました。

特にわが国の食料自給率 38%の低さには、他の国と交流が断たれると食物が入ってこなくなり、糧道が閉ざされる事に身の毛がよだつ思いです。

その中から考えられることは、持続可能性 (SDGs) に基づいて農業の活性化を進め、まず安心安全な地産地消を目指すことだと思います。それは「自然に帰る生活」(循環型社会)を取り戻すこと、いわゆる自然栽培や有機栽培を生産者だけの課題ではなく、消費者もそれらを選んで買う。この二つで持続可能な社会を創ることができるのではないのでしょうか。私たちの出来ることを皆さんとご一緒に考えたいと思います。

未来の子どもたちに良き物を残して行きましょう。

申込書はウラ面です →